

教職経験6年目研修 (教諭)

年間計画

目 次 (年間計画)

| | |
|------------------------------------|----|
| 6年目研修の目的 | 17 |
| 校内指導体制 | 18 |
| 研修内容 | 19 |
| 前年度3月下旬 | |
| 教職経験6年目研修についての「スタートガイド動画」を視聴する | 20 |
| 4月 | |
| 教職経験6年目研修を受講することを校長に報告する | 20 |
| 4月～5月 | |
| 6年目研修に係るチームをつくる | 20 |
| チーム、管理職等からの指導・助言を受けながら | |
| 「教職経験6年目研修計画書[様式1]」を作成する | 21 |
| 「教職経験6年目研修計画書[様式1]」を研修情報システムから提出する | 21 |
| 「6年目選択研修」の研修申込をする | 21 |
| 4月～2月 | |
| 自己目標の達成に向けた授業実践に取り組む | 22 |
| 6年目選択研修を受講する | 22 |
| すべてのオンデマンド研修動画を視聴し、 | |
| オンデマンド研修アンケートに回答する | 22 |
| 2月 | |
| 「教職経験6年目研修報告書[様式2]」を記入し、 | |
| 研修成果等を校長に報告する | 23 |
| 報告書等を研修情報システムから提出する | 23 |

6年目研修の目的

さあ、教師としての「探究・発展期」がスタートしました。そのスタートにあたり、今年度は6年目研修で自己の資質能力をさらに高めましょう。

《6年目研修ではどんな力を高めるの?》



6年目研修は、1年間の実践的研修を通して、以下の3つの力を高めることを目的として行います。

- ・得意分野を開発・探究する力
- ・児童生徒等の理解と適切に対応する力
- ・組織の一員としての役割を理解し、同僚と協力して学校課題に対応する力

・「一つの道を極めた者は全ての道に通じる」という言葉があります。自分の得意分野での授業研究を深め、探究していくことは、今後の教科指導(特に小学校は複数教科の指導)に生かされることになります。



・これまでの5年間、1時間1時間の授業に一生懸命取り組んでこられたことと思います。その授業を振り返ってみたとき、児童生徒の実態を踏まえた授業ができていたでしょうか。児童生徒が身に付けている資質・能力を把握し、その資質・能力をさらに伸ばすことができる授業を展開したいものですね。

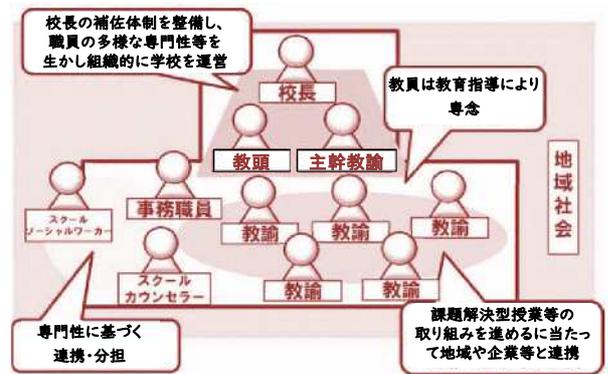
・担任(担当)だけで学級経営をすることはできません。また、学校課題に目を向けないまま教育活動を進めることもできません。学校組織の一員としての役割を理解し、同僚と協力して学級経営・学校運営に関わることで、子どもたちの成長があり、学校課題の解決につながっていきます。

これら3つの力を、6年目研修を通して身に付けます。

校内指導体制

「チームとしての学校」をつくり上げていくことが大切だと言われています。学校の教育活動を展開していくためには、教職員をはじめ多様な専門性をもつ職員が一つのチームとして、それぞれの専門性を生かして、連携・分担して行うことが求められています。

チームとしての学校とは、校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、児童生徒等が生きるために必要な資質・能力を確実に身に付けることができる学校なのです。したがって、6年目研修においても、受講者一人ががんばるのではなく、チーム学校として連携し、受講者を支え、教職員が互いの資質能力を向上できるようにしていくことが、これからの学校教育を展開していくうえでも大切なのです。



6年目研修における校内指導体制

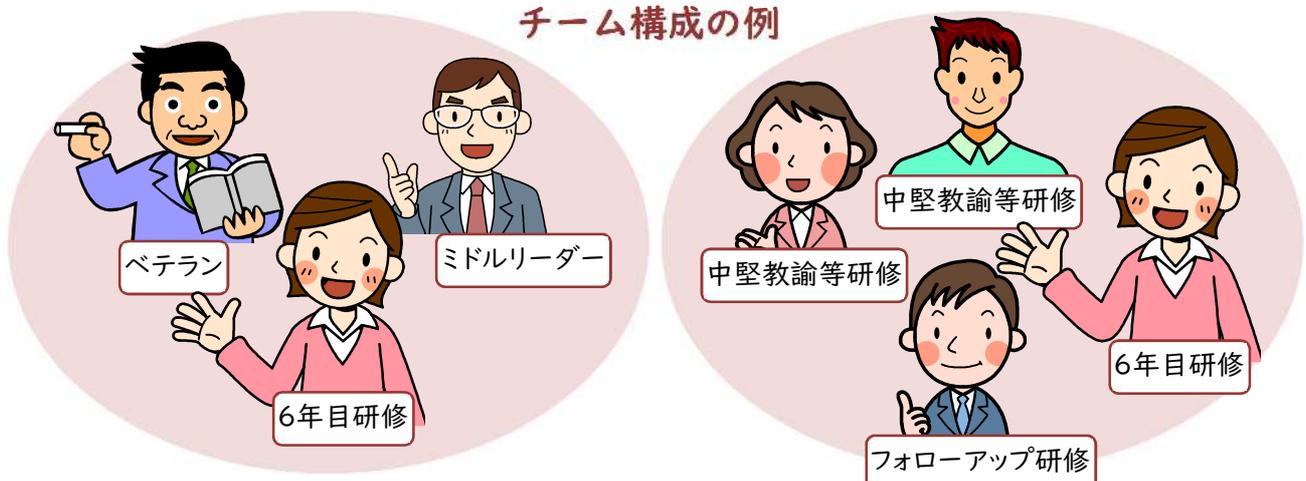
〔校長〕

- ・学校全体としての協力体制を確立し、適宜適切な指導及び助言を行う。

〔6年目研修チーム〕

- ・1年間を通じて校内で管理職を除いた3名以上（受講者を含む）のメンバーからなるチームで、受講者を支え、互いの資質能力の向上を図る。

チーム構成の例



研修内容

6年目をむかえた皆さんは、教師としての仕事もわかり、教育の情熱も高まってきているころでしょう。管理職や先輩・同僚から教えてもらうこともたくさんありますが、自らの資質能力を自分で高めていく研修（自己研鑽）が望まれます。また、後輩の相談相手に乗ったり、アドバイスをしたりすることも積極的に行いましょう。

《6年目研修ではどんなことをするの？》

6年目研修では、以下の2つの研修があります。

OJT研修

日常の教育活動を通して、計画的・重点的に職務に必要な資質能力の向上を図る研修

■授業づくり

- 自己目標の達成に向けた授業実践
- 授業研究
 - ・学習指導案(単元・題材の指導計画評価計画を含む)作成、審議
 - ・研究授業、研究協議

Off-JT研修

日常の職務を離れて、計画的・重点的に職務に必要な資質能力の向上を図る研修

■教育センター研修

- 6年目選択研修※
- オンデマンド研修

※「6年目選択研修」とは、以下の研修を示します。

・県教育委員会が実施する研修（『令和7年度島根県教職員研修計画一覧表』に記載されている研修）から1つ自ら選んで参加するもの。

- ①職務研修又はテーマ研修を選ぶ場合は、「希望者に受講を認める場合あり」としている研修を希望して受講する場合に限る。
- ②担当している校務分掌の職務等により、自身が必修の対象となっている研修とは別に選んで受講する。

前年度3月下旬

教職経験6年目研修についての「スタートガイド動画」を視聴する

【前年度3/31までに】

・教職経験6年目研修の目的、研修内容等について、「スタートガイド動画」(オンデマンド)を視聴する。

※「スタートガイド動画」の視聴方法については、P52を参照する。

4月

教職経験6年目研修を受講することを校長に報告する

・4月1日までに、自分が教職経験6年目研修の受講者であることを、校長に報告する。

4月～5月

6年目研修に係るチームをつくる

・1年間を通じて、管理職を除いた3名以上(受講者を含む)のメンバーからなるチームで受講者を支え、お互いの資質能力の向上を図る。

※チームメンバーに管理職は入れない。

[チーム編成の例]

(ア) 6年目研修受講者が最年少者の場合の
チーム編成

・幅広い年齢層でチームを編成し、それぞれの得意分野や経験からのアドバイスを受ける。

(イ) 中堅教諭等資質向上研修やフォローアップ研修等の受講者がいる場合の
チーム編成

・お互いの研修内容を関わらせながら、研修効果を高める。

(ウ) (ア)(イ)の混合チーム編成

・(ア)(イ)のよいところを取り入れ、チーム全体の資質能力の向上を図る。

(エ) 学校の課題解決(校内研究テーマの追究)に沿ったチーム編成

・学校の研究テーマとリンクさせ、6年目研修によって校内研究を深める。

など、学校や受講者の実態に応じたチームを編成する。



チーム、管理職等からの指導・助言を受けながら「教職経験6年目研修計画書[様式1]」を作成する

- ・「教職経験6年目研修計画書[様式1]」を作成する。
- ・計画書を作成するにあたり、チームメンバー、管理職等から指導・助言を受ける。
※教職員評価システムの年度当初面接等を活用し、校長のアドバイスを計画に生かす。

[記入上の注意点]

- ・「2(1)OJT 研修 ア 授業づくり 授業づくりの自己目標」については、1年間を通して「児童生徒が身に付けた資質・能力を踏まえ、単元(題材)の目標に迫る授業」を目指すことを踏まえて記載する。
- ・「2(1)OJT 研修 ア 授業づくり 授業研究」については、「実施予定日」並びに「校内の指導助言者等」を記載する。
- ・「2(2)Off-JT 研修 ア 6年目選択研修」については、参加する研修名と受講予定日を記載する。
- ・「2(2)Off-JT 研修 イ オンデマンド研修」については、視聴予定月を記載する。

「教職経験6年目研修計画書[様式1]」を研修情報システムから提出する

【5/29 提出締切】

- ・「教職経験6年目研修計画書[様式1]」を作成し、PDF ファイルに変換した後、校長に提出する。
- ・校長は、「教職経験6年目研修計画書[様式1]」を5月29日(木)までに、研修情報システム学校 Page[計画書提出]から提出する。
※提出方法については、P56を参照する。

「6年目選択研修」の研修申込をする 【4/11 申込締切】

- ・県教育委員会が実施する研修(『令和7年度島根県教職員研修計画一覧表』に記載されている研修)から1つ選び、研修情報システム学校 Page 又は MyPage から申込を行う。
※職務研修又はテーマ研修を選ぶ場合は、「希望者に受講を認める場合あり」としている研修を希望して受講する場合に限る。
※担当している校務分掌の職務等により、自身が必修の対象となっている研修とは別に選んで受講する。なお、数理枠採用者は必修の研修とは別に選んで受講する。
※申し込みの際、備考欄に【6年目選択研修】と必ず記載する。記載することで、優先的な受講につながる。
※4月11日(金)までに申し込みをしなかった場合、能力開発研修は実施日 2 か月前までの申し込みは可能だが、優先的な受講につながらないこともある。
※「6年目選択研修」として申し込みをした研修でも、定員を超えた場合等には、希望した研修を受講できない場合がある。
※締切日までに希望した研修を受講できない場合は、5月末までに島根県教育センターから連絡が入る。その場合は、他の研修を「6年目選択研修」として再度申し込む。
※申込方法については、P53を参照する。

4月～2月

自己目標の達成に向けた授業実践に取り組む

- ・1年間を通して、「自己目標の達成に向けた授業実践」に取り組む。
- ・報告書[様式2]の「3 授業づくりの振り返りと今後の見通し 及び 4 今後伸ばしたい資質能力」は、1年間の授業実践を通じた内容について記載する。
- ・指導主事に相談したいこと等があれば、島根県教育センターへ連絡をする。
※教科等の担当指導主事については、4月中に教育センターから各受講者へ研修情報システム MyPage に連絡する。

[学習指導案作成、審議]

- ・学習指導案(単元・題材の指導計画と評価計画を含む)を作成する。
※必要に応じて、「授業づくりのプロセス構想シート」を活用する。記載例については P38～47 を参照する。
- ・学習指導案審議の機会を設け、単元(題材)を通じた授業実践を行う。

[研究授業、研究協議]

- ・授業後、研究協議を実施する。
※必要に応じて「研究授業振り返りシート[参考様式]」(P48)を活用する。

6年目選択研修を受講する

- ・「6年目選択研修」を受講する。
※旅費については、市町村立学校は「指定旅費」で対応し、旅費請求書備考欄に【6年目選択研修】と記入する。県立学校は「学校管理運営費(指定研修分)」で対応し、総務事務システムの用務内容の欄に、参加する研修名及び【6年目選択研修】を併記する。

すべてのオンデマンド研修動画を視聴し、オンデマンド研修アンケートに回答する

【視聴期間 7/1 (火)～1/30 (金)】【アンケート回答締切 2/26 (木)】

- ・オンデマンド研修動画(計7項目)を視聴する。
※視聴方法については、P52を参照する。
※視聴期間は令和7年7月1日(火)から令和8年1月30日(金)までとする。
- ・オンデマンド研修は所属校又は校長が指定した場所で受講する。その際、研修時間に校務を割り当てない。
※校内においては、出張と同様な対応をしてもらう。
- ・オンデマンド研修動画視聴後、研修情報システム MyPage から「オンデマンド研修アンケート」に回答する。
※アンケート回答方法については、P55を参照する。
※回答締切は、令和8年2月26日(木)とする。
※アンケートは「理解できた内容や意識の変容、実践にどう生かしていくか」という視点から、すべての研修動画についてまとめて記載する。

2月

「教職経験6年目研修報告書[様式2]」に記入し、研修成果等を校長に報告する

- ・「教職経験6年目研修報告書[様式2]」のすべての項目を記入し、教職員評価システム「自己評価」とともに校長に提出する。
- ・教職員評価システム年度末面接等を活用し、1年間の研修の成果等を報告する。

報告書等を研修情報システムから提出する【2/26 提出締切】

- ・校長は「教職経験6年目研修報告書[様式2]」及び学習指導案(1回分、単元・題材の指導計画と評価計画を含む)を、PDF ファイルで研修情報システム学校 Page[報告書提出]から提出する。
※提出方法については、P56を参照する。

